

# 授業科目 日常生活活動学

【担当教員名】 小林 量作		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>ADL についての基本的知識、基本的指導技術や介助方法を習得することによって、ADL の重要性を学ぶ。</li> <li>実習で担当する代表的な疾患の ADL 問題点抽出、目標設定、ADL プログラム立案ができるようになる。</li> <li>模擬事例についてのグループ発表を通じて、主体的に学習することを体験する。</li> </ol>					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>ADL 概念、範囲、各種評価法の特徴を理解している。</li> <li>起居動作、移動動作、移乗動作、身の回り動作、福祉用具について理解している。</li> <li>聴取の技術、起居動作、移乗動作、車いす操作技術を習得している。</li> <li>歩行様式、応用歩行、階段昇降の指導、介助方法を習得している。</li> <li>脳血管障害、大腿骨頭部骨折、パーキンソン病の事例について ADL プログラムを立案できる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	概念、範囲、分類		1	講義、担当：小林 量作	
2	ADL 評価 1（総論、各種評価）		1	講義、担当：小林 量作	
3	ADL 評価 2（総論、各種評価）		1	講義、担当：小林 量作	
4	身の回り動作		2	講義・学生発表、担当：小林 量作	
5	起居動作 1		2	講義・学生発表、担当：小林 量作	
6	起居動作 2		2	講義・学生発表、担当：小林 量作	
7	移動動作		2	講義・学生発表、担当：小林 量作	
8	福祉用具		2	講義・学生発表、担当：小林 量作	
9	ADL 聴取の実際		2,3	演習・実技、担当：小林 量作 他	
10	起居動作の実際 1		2,3	演習・実技、担当：小林 量作 他	
11	起居動作の実際 2		2,3	演習・実技、担当：小林 量作 他	
12	移乗動作の実際 1		2,3	演習・実技、担当：小林 量作 他	
13	移乗動作の実際 2		2,3	演習・実技、担当：小林 量作 他	
14	歩行の実際 1		2,4	演習・実技、担当：小林 量作 他	
15	歩行の実際 2		2,4	演習・実技、担当：小林 量作 他	
16	歩行の実際 3		2,4	演習・実技、担当：小林 量作 他	
17	車いすの構造、チェック		2,3	演習・実技、担当：小林 量作 他	
18	車いす操作の実際		2,3	演習・実技、担当：小林 量作 他	
19	ADL 問題点、目標、プログラムの考え方		1,2,3,4,5	演習、担当：小林 量作	
20	脳血管障害の事例		1,2,3,4,5	演習、担当：小林 量作	
21	大腿骨近位部骨折の事例		1,2,3,4,5	演習、担当：小林 量作	
22	パーキンソン病の事例		1,2,3,4,5	演習、担当：小林 量作	
23	まとめ		1,2,3,4,5	演習、担当：小林 量作	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		日常生活活動学・生活環境学（第4版）	鶴見隆正，編、隆島研吾，編	医学書院	2012・5,670円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況。 学生がゼミ単位で発表（4回～8回）。 期末試験は筆記試験及び実技試験。			【履修上の留意点】 演習、実技では実習できる服装で出席する。		